

Ginkgo flower いちょうの花

中原小学校校長室だより 第30号 令和4年3月23日

6年生に感謝を込めて

3月3日、「6年生を送る会」を行いました。目的は、①6年生の卒業を前に、全校児童で楽しい時間を過ごし、互いに感謝の気持ちを伝え合う。②送る会に向けての取組をとおして、児童の企画力や実践力を伸ばすことです。まん延防止等重点措置が継続されているため、Zoomを活用して、昨年度とはまた違った工夫のある会となりました。在校生が縦割りの4班に分かれ、それぞれ企画と準備を行いました。4つの場所に6年生が出向いて交流を行いました。交流の様子は Zoom で他の班に伝えました。それでは、4つの交流を紹介します。

○1班の企画は「わなげビンゴ」でした。わなげでビンゴをつくるというものです。ビンゴをつくるのは、とても難しいようでした。なかには、上手にわなげをする児童もいました。

○2班の企画は「ジェスチャーしりとり」でした。しゃべることなく、体で表現するため、その動作に笑いが起こっていました。

○3班の企画は「すわって玉入れ」でした。1分間という時間でしたが、玉入れには余裕がありました。入った玉を数えるとき、かくれた場所から玉が見つかっていました。

○4班の企画は「新聞ビリビリつなげ」でした。1枚の新聞を切れないようにして、なるべく長くなるようにやぶきます。最後はグループでやぶいた新聞を1つにつなげ、どちらが長いかが競いました。長さは、とても微妙でした。

6年生はそれぞれの交流で感想を求められていましたが、全校児童による精一杯の「おもてなし」に感謝していました。楽しい時間を過ごすことができました。最後に教室にもどった6年生には、全校児童からプレゼントとして「感謝カード」が贈られました。表紙には1年生が描いた似顔絵がありました。

6年生へ。これまで中原小学校をリードしてくれました。本当にありがとうございました。なにごとにも「初め」と「終わり」があります。その連続があなたの人生をつくります。お別れは悲しいですが、中学校での新しい出会いがあなたを待っています。中原小学校での思い出を大切にして、中学校でも自分らしさを発揮してくれることを願っています。



ご卒業、おめでとうございます。

卒業式の式辞を全文掲載します。

校庭の桜やいちょうの蕾もほころび始め、柔らかく温かな風が吹き渡り、ふるさと中原の地にも春の息吹が感じられるようになりました。

本日は、南小国町〇〇課長 〇〇 様、南小国町教育委員会教育委員 〇〇 様、南小国町教育委員長 〇〇 様、中原小学校後援会長 〇〇 様、PTA会長 〇〇 様のご臨席のもと、令和三年度中原小学校卒業式が挙行できますことを、職員一同大変うれしく感じております。本当にありがとうございます。

〇〇さん、〇〇さん、ご卒業おめでとうございます。

あなたたちは、伝統ある中原小学校の卒業生になります。これまで、たくさんの先輩方が築いてこられた伝統を引き継ぎ、さらに大きく中原小学校を発展させてくれました。感染症防止の制限を受けて本年度も大変な一年間でしたが、運動会やぎんなん祭、新しく取り組んだ「中原ウォークスタンプラリー」など、それぞれの場面での活躍と笑顔が浮かんできます。本当にすばらしいものでした。

これまで、多くのことをあなたたちと一緒に考えてきました。「自分が人からしてほしくないことは人もしてほしくないのだから、人にしてはならない。ちょっと立ち止まって考え、心配りができるようになってほしいこと」「白血病からの回復を果たし、東京オリンピックのリレー3種目に出場した競泳の池江璃花子さんから何を学ぶか」「いつも側にいてくれる家族や友だちのことを考えながら、温かい気持ちをもって生活できるようになってほしいこと」「新しい気持ちになった瞬間を大事にしてほしいこと」「まちがうことが悪いのではない。まちがってしまったとき、反省して行動をかえないことがまちがいだということ」「お父さんやお母さんは何にもまして、ただただ子どもの健康を願っていること」「『いちょう』は厳しい冬を乗り越え、ぎんなんを实らせるために花を咲かせる。そんな『いちょう』に見守られていること」などです。一つでも覚えていてくれたら、幸いに思います。

お別れの言葉となりますが、この経験を糧に自信と誇りを持ち、未来に向かって進んでください。最後に、『未来を変えるには、現在の自分が努力し続けること』という言葉をおくります。現在の連続が未来になります。だからこそ、現在を大切にしてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆様にはさぞや苦労も多かったことでしょう。今日の佳き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。本日をもちまして、義務教育六年間が終了しました。これまで、大切なお子様をお預かりし、地域とともに、夢実現に向けて自ら考え、心ゆたかでたくましく伸びる「中原っ子」を育成する教育を保護者の皆様と一体となって、行ってまいりました。ご期待に添えない部分もあったかと思いますが、本校に対するご理解とご協力、ありがとうございました。今後ともどうぞ、よろしくお願ひいたします。

それでは、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたしまして、式辞いたします。

